



### 距離不安を克服し混戦を制す パンジャタワー

マイルの距離を克服し、9番人気の伏兵が大接戦を制した。

人気の中心は朝日杯フューチャリティSを制したアドマイヤズームと、そのアドマイヤズームをニュージランドTで下して勝利したイミグランドソング。レースは序盤、この2頭やチャーチルダウズCの勝ち馬ランスオブカオスを含む先行勢が、激しく好位のポジションを争う展開となった。先手を取ったのはトータルクラリティだったが、3コーナー手前でヴェレヴァーが先頭を奪い、息の入らない流れが続く。最初の600mは33秒4、1,000mは56秒4と、前に行った馬たちには厳しいラップでレースは進んでいった。

直線、2番手から先頭に立つアドマイヤズームに、後方で待機していた馬たちが襲いかかる。横一線の競り合いから抜け出したのは、外を伸びたパンジャタワー。最内から皐月賞6着のマジックサンズ、馬群を割った桜花賞6着のチェルビアットも急追し、ゴール前は大接戦となったが、パンジャタワーがアタマ差、前に出てゴール。約3年5か月ぶりのJRA・GI制覇となった松山弘平騎手が「最後は必死すぎて、勝ったかどうかかわからなかったです」と振り返れば、橋口慎介調教師も「正直、負けたかなと思いましたが」と明かしたほどの際どい決着を制

し、京王杯2歳S以来の勝利を飾った。

朝日杯フューチャリティSの12着大敗など、マイルの距離に課題があると考え、調教を坂路からコース中心に変えてスタミナを養ったとレース後の会見で話した橋口調教師。開業10年目でのJRA・GI初制覇を、父の橋口弘次郎・元調教師も2006年にロジックで制しているこのレースで成し遂げてみせた。

またパンジャタワーの父タワーオブロンドンが現役時、18年NHKマイルCで1番人気ながら12着と敗れていた。この日は母の日だったが、奇しくも調教師は「父子制覇」を、馬は「父の雪辱」を達成することとなった。

#### 第30回NHKマイルカップ (GI)

5/11 東京競馬場 1,600m(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	パンジャタワー	牡	3	57	松山 弘平	橋口 慎介	1:31.7	⑨	⑩⑨
2	マジックサンズ	牡	3	57	武 豊	須貝 尚介	アタマ	③	⑭⑯
3	チェルビアット	牝	3	55	M.ディー	高野 友和	ハナ	⑫	⑩⑨
4	モンドデラモール	牡	3	57	戸崎 圭太	千葉 直人	1/2	⑥	⑦⑦
5	ランスオブカオス	牡	3	57	吉村誠之助	奥村 豊	1 1/4	④	④⑥

パンジャタワー  
栄光の蹄跡

11

タワーオブロンドン [109]  
パンジャタワー  
クラスデアール(ヴィクトワールピサ)  
2022.2.21 生 新ひだかチャンピオンズファーム



牡3 松山 弘平  
1990.3.1 生 B型  
57 (株) Deep Creek  
橋口 慎介(栗東)

2025.3.22 中京  
中日スポーツ賞フアルコンSGⅡ  
18ト 1人 4(107)  
57\* 藤岡 佑介  
芝1400良 1:21.1

2024.12.15 京都  
朝日杯フューチャリティSGⅠ  
16ト 4人 12(94)  
56\* 松山 弘平  
芝1600良 1:35.8

2024.11.2 東京  
京王杯2歳SGⅡ  
14ト 8人 1(109)  
56\* 松山 弘平  
芝1400稍 1:21.2